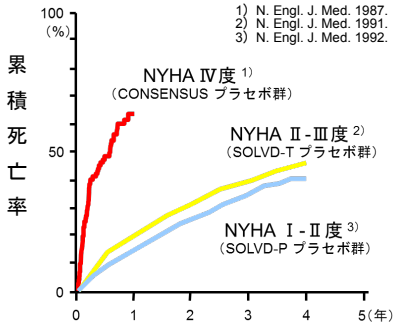
大阪大学大学院医学系研究科　循環器内科学
Department of Cardiovascular Medicine
Osaka University Graduate School of Medicine

重症心不全・移植専攻医育成プログラム

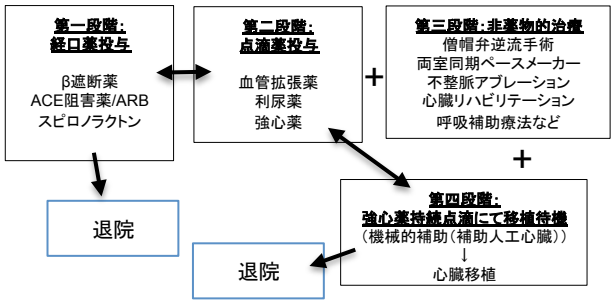
課題

- 重症心不全症例の予後は極めて不良である。
- 重症心不全診療には高度かつ多岐にわたる知識と技術が必要である。
- 重症心不全診療に携わる医師を育成するシステムが存在しない。



重症心不全の予後は不良である

大阪大学医学部附属病院重症心不全治療戦略



重症心不全治療は多岐にわたる

目的

本プログラムは、大阪大学医学部循環器内科・心臓血管外科及び関連拠点病院の連携により、重症心不全診療に必要な知識と技術を習得した集学的診療医の養成を目的とする。

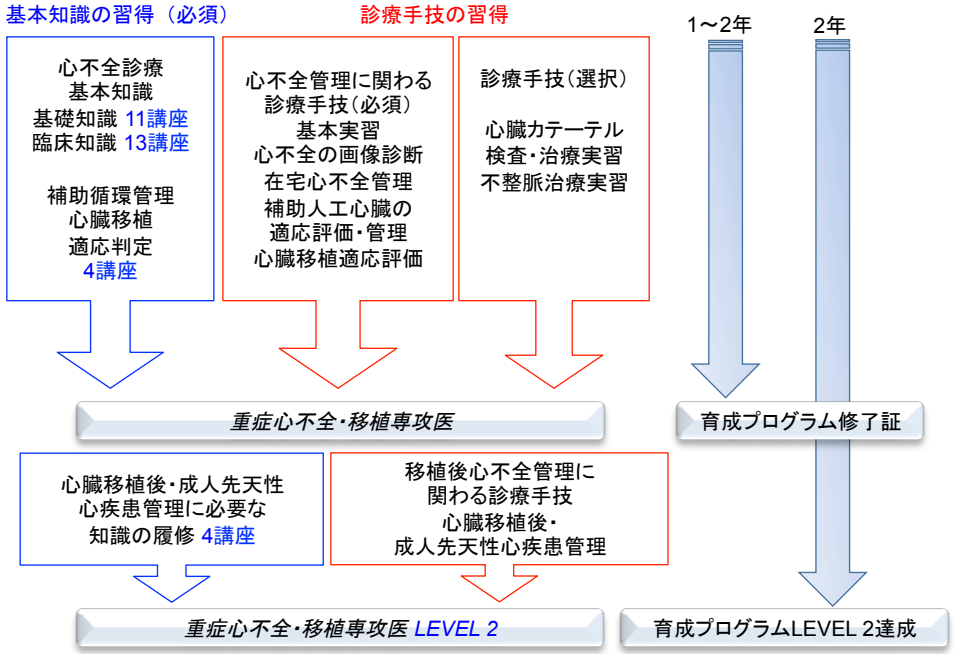
実施体制

関連拠点病院との連携による教育システム体制の構築

専門知識習得を目的とした各関連拠点病院からの講師派遣
病理所見に関するWEBカンファレンス
心不全在宅診療実習　他

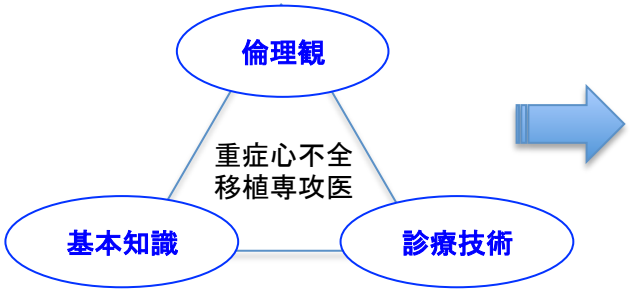
教育プログラム

基本知識の習得、診療手技の習得から構成され、履修期間内に育成プログラム修了を目指す。



到達目標

- 重症心不全の診療に必要とされる**知識と技術を包括的に習得した集学的診療医の養成**
- 疾患だけでない社会的背景も考慮した上での診療を行える**医療の倫理観**を体得
- 本プログラム修了医による**全国の心不全医療への貢献**



- 育成プログラム修了後においても更なる知識・技術の向上
- 全国の心不全医療への貢献
- 次世代の指導者へ